

経営比較分析表（令和2年度決算）

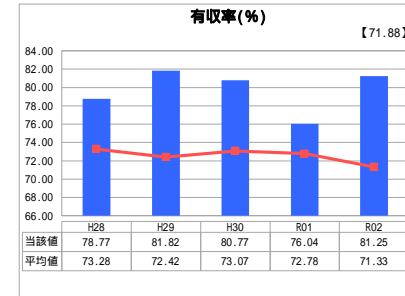
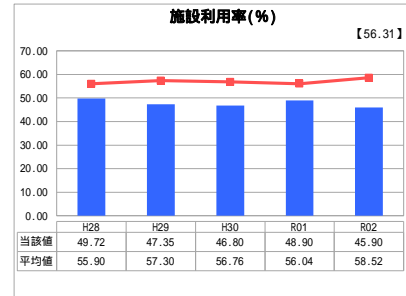
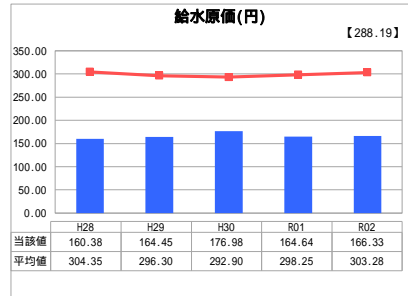
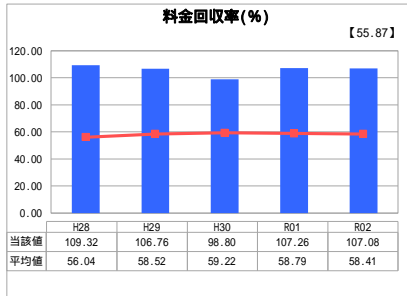
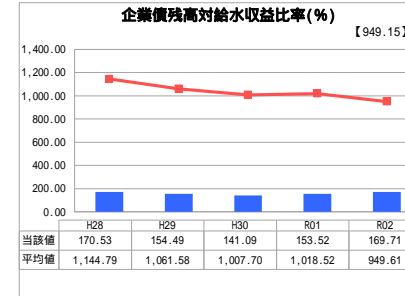
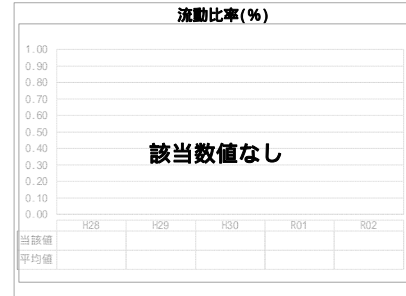
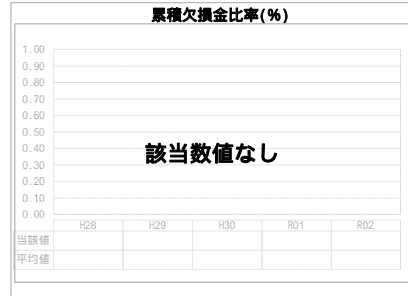
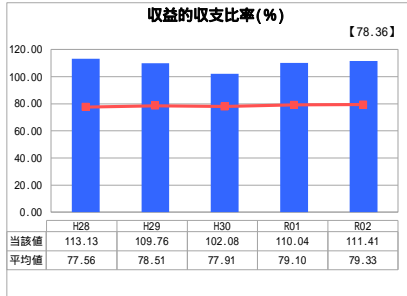
佐賀県 太良町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	51.29	3,080	

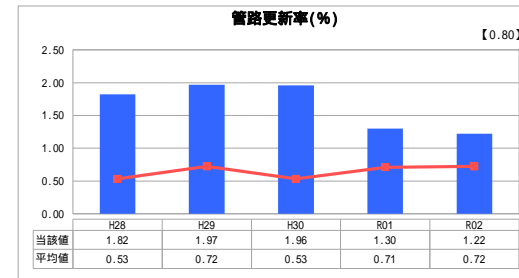
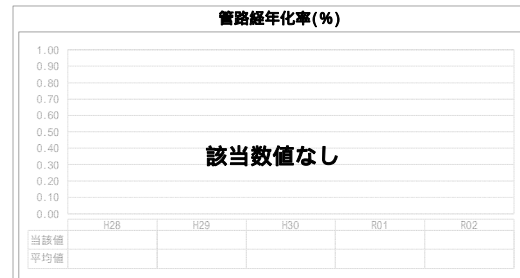
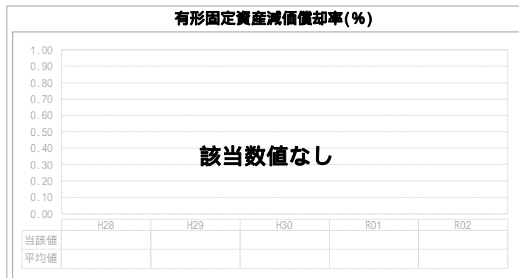
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,533	74.30	114.85
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,342	16.76	259.07

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

単年度収支が黒字であるため、収益的収支比率は100%以上となっているが、給水人口は年々減少しているため、給水収益の増加は望めない。
 類似団体平均値と比較してかなり低指標となっているが、令和元年度から企業債を活用し、計画的な施設更新を図っている。
 料金回収率については100%上回っているため健全経営と考える。
 類似団体・全国平均値と比較してかなり低指標となっている。
 施設利用率減少の要因は給水人口の減少と考える。計画的な施設規模の検討が必要である。
 計画的な管路更新により、有収率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

類似団体・全国平均値とあまり変わらない指標となっている。計画的な管路更新により、更新ベースの向上を図る。

全体総括

本町の簡易水道事業は6地区の簡易水道施設と7地区の飲料水供給施設から構成されている。施設の統合は地形的に難しいため、適正な施設規模の検討が必要と考える。各々の水道施設では採算が取れないところもあるが、簡易水道事業全体で運営をサポートしていく。町民にいつまでも、安心・安全・安価なおいしい水を供給できるよう努める。